

(様式管第8号)

年 月 日	
独立行政法人農林漁業信用基金 殿 (融資機関名)	
予見報告書 <input type="checkbox"/> チェック 事故(延滞)報告書 <input type="checkbox"/> チェック	
債務者	氏名(名称) ☎ 住 所 〒
予見・事故(延滞)内容	原因 その経緯
	(A 放漫経営 B 過少資本 C 他社倒産の余波 D 既往のしわ寄せ E 偶発的原因 F 信用性低下 G 販売不振 H 売掛金回収難 I 在庫状況悪化 J 設備投資過大 K 人手不足 L その他)
	現 状
融資機関所見欄	督促状況、保全取立措置、今後の進め方等
基金保証付債権の保全状況並びに今後の回収計画	

債権並びに債権保全状況	債 権		債 権 保 全		
	(保証番号)	千円	(保証番号)	千円	
(年 月 日現在)	基金保証付貸付		定期性預金		
	基金保証付貸付		普通預金その他		
(プロパー)	保証協会保証付貸付		(根)抵当権(極度額)		
	当座貸越		(うち 基金条件担保)	()	
(手形貸付)	証券貸付		(うち 協会条件担保)	()	
	商手割引		質権(預金以外)		
(支払保証)	支 払 保 証		その他担保		
	そ の 他				
	計		計		
商手割引のうち不良なもの		基金保証付	千円	プロパー	千円
当座貸越根保証の確定	確定日	年 月 日			
	理 由	1. 根保証契約を更新しない。 2. 当座貸越契約が解約その他の事由で終了した。 3. 期限の利益を喪失した。 4. 貸越の一時中止により確定させた。			
銀行取引停止処分日		年 月 日			
期限の利益喪失	月 日	年 月 日			
	根 拠	1. 取引約定書上の当然喪失 2. 通知喪失 3. その他			
融 資 機 関 本 件 担 当 者	原 因	1. 破産 2. 死亡 3. 民事再生 4. 取引停止 5. 債務不履行 6. 会社更生 7. 会社整理 8. 差押え等 9. 競売 10. その他			
	氏 名				
	電 話				

(注) 1. 基金保証付貸付先につき手形不渡事故等が発生した場合、当該貸付金が延滞となり、その回収の長期化が予想される場合または当座貸越根保証が確定した場合には、本書よりご報告ください。
 2. 該当事項をチェック又は○で囲んでください。

3. 次の事例のように、債務履行を困難とする事情が予見される場合においても、幅広く本書によりご報告ください。
 (事例：経営者が体調不良等で経営に専念できないとき。運営上のキーマンが急遽退職するとき。主要販売先・仕入先の倒産など取引関係に顕著な動きがあるとき。月次の資金繰り管理、収支管理ができなくなったとき等)